

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(大平地域)

西地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
1	富田第7	<p>【土地改良記念碑のところに十字路へ信号機を設置してもらいたい。】                      ・事故が頻繁に発生している。特に6月に週に2度も大きな事故あり。                      【※場所は、別紙1地図参照】</p>	<p>【大平市民生活課】                      ご指摘いただきました当該交差点につきましては、事故が多い交差点であると認識しております。                      安全対策としては、信号機設置が最も効果的であると考えられますので、信号機の設置を所管しております栃木警察署へ設置の必要性を要望してまいります。                      しかしながら、平成27年度栃木市におきまして、新設54基、改良21基の設置要望をいたしました。設置に関しましては、栃木県公安委員会が危険箇所について、栃木県内で優先順位を設けて設置されている状況です。                      平成27年度の設置実績につきましては、栃木県内で15基、栃木市内で2基の設置が現状であります。                      このような状況でありますので、すぐにこの交差点に信号がつくかどうか分かりません。そこで、とりあえず市が出来る対応として、交差点の注意喚起を促す看板を設置したところです。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
2	参加者	<p>富田第3自治会につきましては、図面上には赤地、青地があるのですが、現在はほとんど人が通行できない状態で、利用されていない所があります。そこは、半分近い所が民地からの孟宗竹が、道路、水路に侵入して、通れない状況になっています。                      具体的には、郵便局と西公民館の所から、信用金庫のある役場前の通りまで抜ける道路ですが、その付近は非常に竹が繁茂しており、まったく通れない状況になっております。ちょうど大平町の中心でもあります。以前からこの地区の住民が署名をいたしまして、市のほうに要望をしています。しかし、まずは道普請などして通れる状況にということも、市のほうからは回答でいただいているのですが、実際には、なかなかそこを通れるような状況にすることが難しい状態です。大平のちょうど中間地点でもありますし、新たに集合住宅などもできております。そういったことをご理解いただきまして、なるべく早く市のほうで、きちんと道路の整備していただければ、住居として活用できる区域が増え、コンパクトシティというか、中心市街地の活性化にもなるのかと思いますので、その点を要望したいと思います。</p>	<p>青地、赤地ということですが、栃木市に市道はおよそ2,000kmございます。整備率も65%というところで、35%の市道の整備も残っております。                      そういなかで、赤道を積極的に市のほうで整備するという状況ではなくて、先ほどご意見から出たような、道普請のような事業で市も一緒にやっていくことは可能ですので、もう一度現地を確認させていただいて、何ができるか地元の方と相談して参りますので、よろしくお願いいたします。</p>	<p>【道路河川整備課】進捗・対応状況：一部対応                      平成28年10月28日に、自治会役員の皆様と現地確認をさせて頂きましたが、今すぐに道路整備はできないことから、制度を拡充した、道普請制度について、説明させて頂きました。</p>
3	参加者	<p>地方都市リノベーション事業について説明がありましたが、期間とか内容については理解しましたが、投資の規模というのは話がなかったので、教えていただきたい。                      また、この投資は市の財政に対して、どれくらいの比率を占めているのかというのがわかれば教えていただきたい。</p>	<p>全体事業費で、補助の対象となる事業費でいきますと、約56億円になります。そのうち約20億円程度を交付金として見込んでいます。                      もうひとつ、市の財政に対する比率につきましては、これを5年間で実施するかたちでとなりますので、市の財政でいきますと650億円ほどとなっておりますが、投資規模の中で年間で割って参りますので、5年間の計画の中で、リノベーション事業の割合というのは、多少ばらつきがあります。美術館を造る時など、若干、高い部分もありますが、全体では均して調整を取るよう進めて参りたいと思っております。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(大平地域)

西地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
4	参加者	<p>駐在所がなくなって交番が新しく設置させるような話を伺ったが、ご説明をお願いしたい。</p>	<p>交番化計画については、今年の自治会長連合会の研修会の際に、警察から説明をいただきました。直近では、大平公民館で、住民説明会というかたちで学校関係者なども含め、説明会を開催しています。</p> <p>交番のメリットをお話させていただきますと、24時間体制で職員が常駐するというので、駐在に比べ大変メリットがあるということです。また、現在4か所の駐在所がありますが、経年30年以上の駐在所がほとんどで、その老朽化という理由もござります。今回、警察で交番化を進めていくということで説明会を開催している状況です。</p> <p>今のところ、自治会長説明会、住民説明会のなかでも、特に強い意見等はござりません。警察の予定としますと、平成29年秋には大平駐在所から大平交番への建て替えということで、現在の大平駐在所の所に交番を建てます。その他の駐在所につきましては、解体をしていく予定でござります。ただし、西水代駐在所については、できてから17年しか経過しておりませんので、官舎として利用する可能性があるということです。</p> <p>駐在所については、4つあるものがなくなり、大平駐在所を大平交番に建て替えるということで、平成30年の春から交番業務開始という予定であると聞いております。</p>	【左記回答要旨のとおり】
5	参加者	<p>メディカルセンターの話ですが、急性期を担当する病院だという説明を受けたことがあります。その件で、このような事例がありました。</p> <p>3か月前になりますが、夜の9時半頃、脳溢血で救急車でメディカルセンターしもつがに運ばれましたが、夜中に急変して、うちでは手に負えませんので、獨協医大に転送しますということがあったそうです。無事に退院はしましたが、最初から獨協に運んでくれたほうが良かった。</p> <p>病院のことですから内容はわからないかもしれませんが、病院との懇談会などで、こういう事例を聞きましたが、どうなのでしょうかとこのくらいの確認はしていただければと思います。これについての回答は結構です。</p>	<p>メディカルセンターしもつがにつきましては、病気や怪我が発生した際の急性期の2次救急病院ということと、3大疾病といわれます脳卒中とか急性心筋梗塞あるいは癌につきましては、過度に大学病院等に依存しないようにということで、メディカルセンターへの市としての期待がござります。</p> <p>おそらく、そのメディカルセンターが対応する2次救急を超えた3次救急の高度な救急医療が必要であるという判断で、獨協へ搬送したのかと想像できますが、そういった救急医療は、本当に時間を争うので、円滑な対応をしていただくようお願いがあったということで、メディカルセンターには、今後の対応の改善を要望していきたいと思っております。</p>	【健康増進課】進捗・対応状況：一部対応 「とちぎメディカルセンターしもつが」は二次救急医療機関でありますので、病院の診療能力を超えた重症患者の場合には、三次救急医療機関である地元の大学病院に搬送することになります。このようなことから、地元大学病院へのスムーズな搬送と、患者や関係者へきちんとした説明責任を果たすよう「とちぎメディカルセンター」にお願いしたところであります。
6	参加者	<p>またメディカルセンターの話で恐縮ですが、どこかの資料にメディカルセンターには産科がないようなことが書いてあったと記憶しています。産科を作っていたらいいと思うのですが、いかがでしょうか。</p>	<p>メディカルセンターしもつがには、いわゆる婦人科はありますが、出産ができる産婦人科の体制にはなっていないということ、ご存知のとおりでござります。産科につきましては、議会や市民からも出産ができる体制が必要ではないかという要望をいただいております。市としても、できればそういう体制が望ましいと考えておまして、メディカルセンターにも要望しているところでござります。現実的なお話しをさせていただきますと、産科につきましては、例えば病院で産婦人科を設ける場合には常時産科医が3名以上いる体制を作らないとならず、産科医につきましては、全国的に不足しておまして、メディカルセンターに派遣してもらおうとすれば、獨協や自治医大などの大学病院からなわけですが、大学病院そのものが、産科医が不足している状況で、現実としては派遣して頂けない状況があります。県でも、産科医の育成ということで、奨学金制度を設けるなどして養成しておりますので、将来的には十分産科ができるのかなという期待は持っております。それまでにつきましては、現実、難しい現状があります。メディカルセンターとしても、産科医が確保できれば産科を設けていきたい意思を示しておりますので、現状では厳しいですが、将来的にはそのような事は努力していきたいと考えております。</p>	【左記回答要旨のとおり】

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(大平地域)

東地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
1	上牛久	<p>【栃木駅南部地域整備基本計画における上牛久地内のゾーンBとメディカルセンターの間の整備計画は、どの様になっているかお伺いしたい。】</p> <p>平成17年11月16日に上牛久公民館で行われた『栃木駅周辺地区(上牛久自治会)まちづくりの打ち合わせ』は、栃木駅南部地域における“優先的整備地区”(栃木駅南部地域整備基本計画概要版)の抽出位置づけとし、上牛久地内をゾーンBとその他のエリアに分けてあり、現在ゾーンBは、整然としたたたずまいになっています。</p> <p>その他のゾーンについては、メディカルセンターのオープンで、人や車の往来が、朝夕の通勤時間帯になると大変なものです。</p> <p>質問① 今後の上牛久地内の(ゾーンBとメディカルセンターの間の)整備計画は？</p>	<p>【総合政策課】</p> <p>大平地域の上牛久地区につきましては、栃木駅南部地域整備基本計画において、「ゾーンB」と「その他のエリア」に位置付けております。</p> <p>「ゾーンB」につきましては、面積は約4.5haで、全域が市街化区域であり、そのうち4.2haを「栃木駅南第2地区」として区画整理事業により面整備を行ったところです。</p> <p>栃木メディカルセンターしもつがは栃木駅から南へ約800mの市街化調整区域にあり、平成25年6月に「栃木駅南部地区」として地区計画を定めて、病院及び病院に付属する施設が立地できるエリアとして、周辺の土地利用に影響を及ぼさないよう限定的な土地利用を行っています。</p> <p>今回、ご質問のありました「ゾーンB」とメディカルセンターしもつがに挟まれた地域に関しましては、「その他のエリア」内にあり、市街化区域と市街化調整区域が混在した区域となっております。</p> <p>この地域における整備計画につきましては、とちぎメディカルセンターしもつがを中心とした医療エリアの整備に併せ、立地条件を活かした質の高い住環境地域を目指すとしており、都市計画マスタープランにおきましても、田園環境と調和した新たな定住拠点の形成を推進する地区として位置づけていることから、従来の計画で想定しておりました住居系の土地利用に加え、開発を進めやすくするための拠点施設の立地誘導や交通機能の円滑化など、今後、関係機関との調整を図りながら、具体的な開発手法等を検討してまいります。</p> <p>しかしながら、市街化調整区域の農用地区域を含む地域であることから、関係機関との調整には相当の期間を要することもご理解をいただきたいと思っております。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
2	上牛久	<p>【水路を暗渠化してもらいたい。】</p> <p>水路の暗渠化 (土砂の流入、自治会での整備が難しくなりつつある)</p>	<p>【道路河川維持課】</p> <p>日頃より水路等の清掃を継続して実施いただき誠にありがとうございます。</p> <p>ご要望の水路の暗渠化につきまして、現場を確認いたしましたところ、隣接する各家庭からの雑排水が接続されている水路であります。排水路につきましては堆積土砂等の維持管理上基本的には蓋をかけておりません。また、構造上蓋を設置しにくい形状となっております。清掃につきましては、家庭雑排水等を接続されておりますことから、市としましては、他の地域と同様に地元での対応をお願いしているところであります。なお、清掃にあたりましては、清掃用具等の貸し出しや清掃後の土砂等の回収を実施しておりますので、ご理解の程、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、法面の土砂上げ場に土砂等の堆積が見受けられましたので、市が除去して、水路への土砂流入を防ぎ、自治会での清掃の負担を軽減したいと考えます。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>



平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(大平地域)

東地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
3	土与	<p>【ふれあいバスの停留所の変更及び、ルートの変更をしてもらいたい。】                      現在、土与自治会内において、ふれあいバス(岩舟線、東・西回り)の路線が運行されている。                      バス停の位置については、道路の側溝の上に看板があり、市道O-157号線が全面開通になってからは、大型車両の交通量も増加してきており、乗降者、特に子ども、高齢者の方が車両の通過時の風圧などにより転倒しかねない。また、道路と畑で段差になっていて逃げ場がない。                      こうした状況を踏まえて、できればバス停の位置を安全な場所に変更してほしい。                      もし、出来れば、土与自治会内を通過するルートに変更して、自治会内の中心付近で乗降出来れば大変ありがたい。                      検討の程、よろしく願いいたします。                      【ルート変更の案】                      ・現在のルート ⇒ 市道O-157号線経由して、市道O-152号線を牛久方面に向かう。                      ・変更ルート ⇒ (株)オオシマ小野商事の所の押しボタン信号を右折して、土与共同墓地の交差点より市道O-152号線を牛久方面に向かう。</p>	<p>【交通防犯課】                      ご指摘のとおり、市道O-157号線(01001号線)は、全面開通後、ダンプ等の大型車両の通行が増加してきております。また、土与バス停付近は、歩道が敷設されていないため、バスの乗降時に危険が伴う状況であることから、当該バス停については、より安全な場所に移設する方向で検討してまいります。                      ルートの変更については、(株)オオシマ小野商事の所の押しボタン信号の交差点から土与共同墓地間において、路線バスが安全に運行できる十分な幅員が確保されていないことから、現在の状況では、実施は難しいものと考えております。                      なお、具体的なバス停の移設場所については、今後、地域の皆様や地域公共交通会議の有識者等のご意見を踏まえ、正式決定いたしますが、現在のところ、十分な幅員と歩道により安全が確保できる、貴自治会内の市道O-152号線(01040号線)沿線を考えております。</p>	<p>【交通防犯課】進捗・対応状況:対応済                      土与バス停につきましては、地域公共交通会議等における協議が整ったことから、平成29年4月1日より、現在の位置から貴自治会内の市道O-152号線(01040号線)沿線に移設いたします。なお、ルートの変更は、いたしません。</p>
4	土与	<p>【交通量の多い交差点付近の市道の一部を拡幅してもらいたい。】                      市道O-152号線と市道O-157号線の交差点(元協和設備の所)より南約30m位まで拡幅工事が完了しているが、近年、朝の通勤ラッシュ時には、車両の交互通行しなければ通過することが出来ない。                      この付近は、子どもの通学路であり、又、とちぎメディカルセンターの開業に伴い、救急車の搬送ルートにもなっており、重要な交差点です。                      用水路があり、難しいと思いますが、あと50m位まで拡幅工事の延長をお願い致します。</p>	<p>【道路河川整備課】                      ご要望の路線につきましては、O152号線の改良に合わせ交差点から約30mの区間について改良したものであり、南側部分については現道への擦り付けをしております。現在のところO152号線の改良計画はございませんが、擦り付け箇所において朝の通勤時には車両の交互通行も発生しているとのことでありますので、円滑な通行を確保するための整備に向けた用水路の管理者との調整や工法についての検討をしてみたいと考えております。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
5	真弓東	<p>【水害時に水の塞ぎ止めの要因となっている道路の高さを下げたり、排水ポンプを設置したりして、排水対策をしてもらいたい。】                      真弓東自治会の中内地区は、永野川堤防の東側に位置し、近くには、栃木市方面から流れ入る瀬戸河原の排水路を有し、永野川へと通常は流れています。                      農地の基盤整備に伴い、台風豪雨時には、河川や農水路が急増水し、瀬戸河原の排水も出来ず、又、永野川の水位上昇に因る水門からの逆流もあり、私達の流域地区は、田圃もダム化し、自治会内の堰を越え、洪水となって流れる。                      常に台風時には、水害の驚異に生活環境が何時破壊されるか危機を感じる状況です。                      平成14年7月11日の台風16号や平成27年9月9日から10日未明の台風18号などにより中内地区は、多大な被害を受けた。                      この地区の水位上昇が起こるのを防ぐには、昭和58年から昭和62年に路肩整備事業として実施された中内・六ツ屋間の高く盛土された公衆用道路が、水の塞ぎ止めの要因となっている。                      現在の道路を下げて頂きたい。                      また、瀬戸河原排水のポンプによる矯正化も合わせて改善していただきたく、自治会総意の切望する願いです。</p>	<p>【道路河川整備課・大平産業振興課】                      まず、道路についてですが、ご要望の路線につきましては、真弓と上高島を結ぶ東西の重要な路線となっております。ご要望は道路の高さを下げたいというものでありますが、道路を下げるにより既存の住宅地や田面と道路の間に高低差が生じてしまうことや、下げたことにより道路の冠水が生じ交通が遮断されてしまう恐れが懸念されるため、現在のところは道路を下げることは難しいと考えております。                      次に、排水路についてですが、真弓中内地区においては、昨年9月の関東・東北豪雨災害後に樋門付近にある水路の一部に土砂堆積が目立つ箇所があり、通水機能を十分に果たしていない区間が確認されたため、緊急的な対策として、市の補助金である土地改良事業補助金(災害復旧)を活用し、改良区が浚渫を実施しました。                      また、地元から排水対策の要望として真弓中内集落の東側水路側溝の拡幅が県及び大美間土地改良区に提出されており、県と市と改良区でどのような排水対策を講じていくことが適切なのか、調整を図ってまいりたいと考えております。また、ご要望にあった強制排水施設(ポンプ)の設置については、先に述べた水路の拡幅と併せて検討していかなければなりません。事業費も大きくなるため国庫補助事業を活用していく必要があると考えます。関係機関である県土木事務所及び大美間土地改良区と協議しながら、特に改良区の意思決定も必要不可欠ですので調整を図りながら進めていきたいと考えております。</p>	<p>【大平産業振興課】進捗・対応状況:対応済                      真弓中内地区における強制排水施設(ポンプ)の設置につきましては、昨年の10月に地元の土地改良区である大美間土地改良区の総代会の中で、今後の栃木市全体の排水対策事業計画の中に予定されている旨の説明を行いました。また、県営事業として進める方針が確認されており、県では平成30年度から事業着手できるよう平成29年度より調査計画業務を行う予定となっております。</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(大平地域)

東地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
6	真弓中	<p>【水害対策のために、市道及び交差私道に側溝を設置してもらいたい。また、抜本的な対策についても検討をお願いしたい。】</p> <p>日頃、自治会内の環境改善及び安全対策の実施につきまして、改善対応をしていただいております。感謝申し上げます。</p> <p>さて、昨年9月の関東・東北豪雨により、自治会内の低地で床上・床下浸水の被害がありました。</p> <p>この時の状況を確認しておりましたが、2地域の浸水箇所のうち1箇所目の浸水で水位が上がり、オーバーフローした水が2箇所目に流れ込み、2箇所目の水位が上昇し大きな被害が発生しました。</p> <p>1箇所目からのオーバーフローの水は20m程度の側溝設置により流れ込みを防ぐことが可能であると考えますので、市道及び交差私道に側溝を極力早く設置していただきたく、ご検討をお願いします。</p> <p>また、側溝設置が完了するまでの一時しのぎの対策として、当該箇所に土嚢の配備をお願いしたいと思います。</p> <p>更に、今回の増水は、降雨もありますが、永野川の増水による浸透圧で堤防からの漏水や地下水脈のサイホン効果があり、噴出した水で浸水したものと思われます。50年に一度の大雨とも言われておりますが、至近年度に同様の大雨が来ないとも言えないと思われ、抜本的な対応も考えなければいけないと危惧しております。是非とも、ご検討をお願いいたします。</p> <p>※本件は、昨年、市長宛に要望した案件であるが、具体的な動きが見受けられない為、再度、要望する次第です。</p>	<p>【道路河川維持課】</p> <p>本要望路線につきましては、市道認定されていない市が管理する認定外道路であります。昨年9月の豪雨による被害につきましては、市としても状況を把握しているところであり、雨水対策が必要な箇所の1つであると認識しております。</p> <p>ご要望の側溝設置要望箇所付近ではありますが、多方向からの浸水、それに伴う流入が発生したことや、諏訪神社参道東側地域では、勾配がなく雨水が溜まりやすい地形であることがうかがえるため、整備は部分的な整備を行うのではなく広い範囲を考慮した整備が望ましいと考えておりますが、広い範囲の整備には時間を要することから、先ずはご要望をいただきました箇所の側溝整備に向けた検討をしたいと考えております。</p> <p>しかしながら、台風や局地的豪雨も増えてきていることから、整備が完了するまでの応急的な措置として、土嚢による対応を実施したいと考えております。</p>	<p>【道路河川維持課】進捗・対応状況：一部対応</p> <p>ご要望の道路につきましては依頼の都度、土嚢配布にて対応いたしました。</p> <p>なお、整備については、順次に補修を進めていく考えでの検討をし、水害による応急的な措置としては、土嚢配布による対応を実施していきます。</p>
7	真弓西	<p>【鷺のコロニーの鳴き声騒音及びフンについて、対策を要望したい。】</p> <p>日立工場東側と新用水西側の間に林があります。この林に鷺のコロニーがあり、多数の鷺が繁殖の為、群れています。</p> <p>この為、近隣に住む人から苦情がありました。</p> <p>その内容は、</p> <p>①騒音(コロニーから鷺の鳴き声がうるさい。特にカラス(多数)が鷺のコロニーに集まると、カラス、鷺の両方の鳴き声がうるさい)</p> <p>②公衆衛生面(餌をとる為、永野川や田んぼの往復時、フンをする為、洗濯物や車に付着し困る。又風向きにより、コロニーのフンが臭い)等です。</p> <p>苦情の対策を要望したい。</p>	<p>【大平産業振興課】</p> <p>ご要望の場所につきましては、日立アプライアンス(株)の敷地内にある林に多数のサギが生育及び繁殖し、群れていることは確認しております。この問題については、約2年前にも日立さんから何か良い対策方法はないかと市に相談がありました。この時の対応は住宅地沿いの樹木の一部を伐採するなど実施したそうですが、更に奥にコロニーを作られてしまい、現在に至っているとのことでした。</p> <p>サギについては、鳥獣保護法により、許可なく捕獲、殺傷などできないことになっており、これらのサギを狩猟する場合は、鳥獣保護法に定める捕獲許可を得て狩猟することになります。しかし、この場所は銃器による特定猟具使用禁止区域になっており狩猟ができません。また、卵や雛がいる巣や樹木を棒で落したり、伐採することも鳥獣保護法により禁じられております。</p> <p>対策案として、県南環境森林事務所の担当者に確認したところ、卵や雛がいない時期に木を伐採することが最も有効とのことでした。以前、運動公園東側にあったコロニーが運動公園整備のため、伐採したところサギはいなくなりました。しかし、伐採は緑地の減少や費用が大きくなってしまいました。その他、枝打ちや藪の刈払いにより、人が行き来できる環境を作ることや、カワウ対策でよく用いられる手法で、ビニールテープを木の枝に巻く方法などがあるとのことでした。</p> <p>既に日立アプライアンス(株)には近隣住民の方から要望があることは伝えてありますので、今後も、サギ対策の方法等について情報提供したり、林の整備に協力していきたいと思っております。</p>	<p>【大平産業振興課】進捗・対応状況：対応予定</p> <p>日立アプライアンス(株)の敷地内の林におけるサギによる問題については、その後、以前からサギ対策について相談している県南環境森林事務所に問合せたところ、サギが住みにくい環境にするには、森林をきれいに整備することが有効であるとのことから、県事業である元気な森づくり県民税事業を活用して、森林の整備が可能である回答をいただきました。その旨日立アプライアンス(株)に説明し、事業に取り組むか検討しているところです。</p>



平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(大平地域)

東地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
8	下高島	<p>【農道の早急な舗装を要望したい。また、進捗状況をお伺いしたい。】                      3年前の当時の自治会長より要望が出されていた件と同要望になりますが、その時の市側の回答として「総合計画の実施計画に計上し、整備を進めたい」旨の話を聞いております。                      現況を見ますと、3年前と何ら変わりなく、一部、昨年9月の豪雨の影響で、道路路肩が流され、個人あるいは水利組合等で補修された所もあるようです。                      早急に整備が進められるよう要望するとともに、その後の市の進捗状況をお伺いします。</p>	<p>【道路河川維持課】                      ご要望箇所の現地を確認したところ、小山市境に至る土地改良事業で整備された道路と思います。市内には、未舗装の道路がまだ多数あり、通学路や生活道路などから優先的に、舗装整備を予算化しているところがありますので、なかなか整備されないままだったのかと思います。そこでこの地域の条件から整備を進める方策のひとつに補助金を導入した農道整備が考えられますことから、採択基準などを県と協議して報告させていただきます。                      また、舗装整備までは、砂利敷き等の修繕で対応していきたいと考えております。</p>	<p>【道路河川維持課】進捗・対応状況：一部対応                      ご要望の道路につきましては、平成28年10月に砂利道区間の砂利敷きにて実施致しました。</p>
9 ①	北武井 【河川の排水対策についてその①】	<p>【河川拡幅、排水機場又は、排水路の変更による河川の排水対策を講じてもらいたい。】                      北武井には、旧栃木市より流入している河川があります。                      一般排水や雨水排水は、その川より巴波川へと流れています。                      昨年の9月10日に起きた関東・東北豪雨により越流して、巴波川沿線の住民に多大な被害をもたらしました。                      いつまた、このような災害が起こるかわかりません。是非、甚大な被害が出ないうちに、下記の点を講じてもらいたい。                      記                      1. 河川の拡幅による越流防止策、又は、排水機場による対策                      2. 排水路の変更による災害の回避をお願いしたい</p>	<p>【大平産業振興課】                      ご要望の排水路につきましては、県営かんがい排水事業(赤淵川地区)により、平成5年に整備された排水路となっております。その整備内容は、都賀地域及び栃木地域の市街化区域の農地や、大宮地区の土地改良区域内の農地からの排水を受け持つ広域的な排水路でありまして、当該排水路の上流部の樋ノ口町、城内町2丁目地内にある分水堰により、小山市の豊穂川と当該排水路から一級河川巴波川へ排水しております。                      また、当該排水路には、栃木地域の神田町、城内町地内などの市街化区域の都市排水も、普通河川城内川から直接流れ込んでおります。城内川流域の市街化区域内において住宅地等の開発が進んだことから、当該排水路が事業計画された時点で想定した排水量より増加していると考えております。                      当該排水路の整備については、こうした周辺の排水状況の変化や最近の異常気象等を踏まえたうえで、地域や市域を超えた広域的な対策と、短期的で当該地域に特化した対策の双方を確実に実施していく必要があると考えています。                      ご要望の1の越流防止対策又は、排水機場による対策ですが、まずは、短期的な対策としては、当該地区の冠水を防ぐための越流防止策として、地元土地改良区と連携しながら、排水路の流下断面を確保するための浚渫を計画的に実施していくことや、排水をスムーズに流下させるために、当該排水路の底盤をコンクリート化するなどの排水対策を講じると共に、災害時における市建設業協同組合等との連絡体制を強化することにより、増水時においては、臨時の排水ポンプの設置も検討していきたいと考えています。また、排水機場による対策ですが、機械排水処理には、従来の排水機場を設置する方式とゲートポンプ方式がありまして、当該排水路は、水門に直接排水ポンプを取り付けて排水するゲートポンプ方式が効果的であると考えられますので、今後、施設の整備を検討する必要があると考えます。参考ですが、市内の大平町蔵井地内にあります排水路の水門にも、ゲートポンプが設置されており台風や集中豪雨時の排水処理を行っております。                      [次ページへ続く]</p>	<p>【大平産業振興課】進捗・対応状況：対応予定                      当該地区の排水対策につきましては、広域的な観点から当該地区及び下流部の被害を軽減するためには、上流からの排水の流入を減らすことが重要であると考えております。今後、市内部の関係課と協議を行いながら、効率的な排水対策をまとめていきたいと考えております。また、強制排水についても、今後の施設整備の中で検討する必要があると考えております。</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(大平地域)

東地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
9 ②	北武井 【河川の排水対策についてその②】		<p>次にご要望の2の排水路の変更による災害回避についてですが、広域的な対策として当該排水路に流入する水を減らし、当該地区及び下流部の被害を軽減するためには、市街化区域内から流下してくる排水量を減らすことが重要でありますので、今後、当該地域の上流部において調整池の設置や、一級河川巴波川に排水路を新設するなどの都市排水処理対策をまとめていきたいと考えております。これらの対策を講じるには、少し時間はかかってしまいますが、この地域の抜本的な洪水対策には、どうしても必要なことであると考えており、今後、県、地元土地改良区、自治会の皆様にもご理解いただいたうえで、広域的にまとめられます都市排水処理対策と整合を図りながら、この地域の排水対策をまとめていきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思います。</p>	【大平産業振興課】進捗・対応状況:
10 ①	北武井 【ふれあいバス・蔵タクの件その①】	<p>【ふれあいバス及び蔵タクの利用状況を教えてください。】 1 各路線、方面別の利用状況について ふれあいバスが、どの位の人に利用されているのか。下記の状況について教えてください。 ① 各路線毎の1便当りの乗車人員 ② 各地区毎の1便当りの乗車人員 ③ 上記①②の平日、土日祝日毎の1便当りの乗車人員 ④ 比較的利用者の少ない停留所名を各路線毎(1ヶ月当り30名以下)</p>	<p>【交通防犯課】 1 ふれあいバスの利用状況について 路線別・地区別の利用状況については、次のとおりです。 (平成28年7月の乗車人数により算出。④は、乗車降車を合算した人数により算出。) ①路線別の1便当りの乗車人数 寺尾線6.5人 市街地循環線4.0人 市街地北部循環線8.7人 部屋線5.8人 真名子線3.4人 金崎線3.8人 大宮国府線2.8人 皆川樋ノ口線3.3人 藤岡線2.8人 岩舟線2.6人 ②地区別の1便当りの乗車人数 寺尾地区2.1人 西方地区1.0人 吹上都賀地区3.3人 栃木地区25.3人 皆川地区1.2人 大宮国府地区1.6人 大平地区6.2人 藤岡岩舟地区3.0人 ③平日・土日祝日別の1便当りの乗車人数 &lt;平日・路線別&gt; 寺尾線7.1人 市街地循環線4.2人 市街地北部循環線7.9人 部屋線6.5人 真名子線3.9人 金崎線3.9人 大宮国府線2.9人 皆川樋ノ口線3.8人 藤岡線3.1人 岩舟線2.6人 &lt;休日・路線別&gt; 寺尾線5.5人 市街地循環線3.5人 市街地北部循環線10.0人 部屋線4.6人 真名子線2.7人 金崎線3.4人 大宮国府線2.5人 皆川樋ノ口線2.3人 藤岡線2.5人 岩舟線2.8人 &lt;平日・地区別&gt; 寺尾地区2.3人 西方地区1.0人 吹上都賀地区3.7人 栃木地区25.8人 皆川地区1.5人 大宮国府地区1.5人 大平地区7.0人 藤岡岩舟地区3.0人 &lt;休日・地区別&gt; 寺尾地区1.8人 西方地区0.9人 吹上都賀地区2.7人 栃木地区23.9人 皆川地区0.5人 大宮国府地区1.6人 大平地区5.0人 藤岡岩舟地区3.4人</p> <p>[次ページへ続く]</p>	【左記回答要旨のとおり】

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(大平地域)

東地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
10 ②	北武井 【ふれあいバス・蔵タクの件その②】		④路線別の利用者の少ない停留所(30人/月以下) 寺尾線…田政前・岡田前(0人)ほか15停留所 市街地循環線…日ノ出町五差路北(15人)ほか12停留所 市街地北部循環線…うおえい前(14人)ほか4停留所 部屋線…中根地区公民館前・江川南・藤岡町商工会館前(0人)ほか21停留所 真名子線…西方ふれあいパーク入口(1人)ほか20停留所 金崎線…金井北・西方小学校前(0人)ほか32停留所 大宮国府線…JALもつけ前・栃木信用金庫東支店前(1人)ほか27停留所 皆川樋ノ口線…岩出養蜂所前・勝見沢・松永医院前・小野寺ふれあい館前(0人)ほか37停留所 藤岡線…植原歯科医院前・牛久公民館入口(0人)ほか53停留所 岩舟線…森田建設前(0人)ほか33停留所	【左記回答要旨のとおり】
11	北武井	2 ふれあいバスに替わる蔵タクについて 蔵タクを利用する場合、電話をかけて頼みます。目的地から帰りの依頼は施設等の電話を使うのかと思います。 北武井で蔵タクを利用している人は、ほとんど携帯電話、スマートフォンなど使っている人はいません。公衆電話の無い時代、蔵タクを利用しづらい状況ではないでしょうか。 又、人口の少ない自治会では、相乗りする人が少なく、結果、他の地区を廻って行くため、所要時間もかかります。栃木市の利用状況について教えてください。	2 蔵タクの利用状況について ご指摘のとおり、最近では、公衆電話が未設置の施設も多く、携帯電話等を持たない利用者が、施設等から電話予約を行うのは困難な状況にありますが、蔵タクは、1回の電話で行きと帰り両方の予約ができますので、予約があった際には、オペレーターが、帰りの利用の有無を必ず確認し、必要があれば一緒に予約することで、利便性の向上に努めているところであります。 また、蔵タクは、バスと同様に乗合いの公共交通機関で、利用者を1時間以内に順番に目的地までお送りする仕組みであることから、利用者の送迎距離とその時の予約状況によって目的地までの時間が変わることとなりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。 利用状況については、病院、スーパー、老人福祉センターの利用が多く、平成27年度の利用登録者数は17,069人、年間利用者数はのべ59,609人、1日あたりでは約246人となっております。	【左記回答要旨のとおり】
12	中央町第2	【未舗装通学路の簡易舗装をお願いしたい。】 大平町蔵井地区、磯山交差点信号から大平中学校正門の間の通学路を、先般、舗装を実施していただきましたが、別紙地図の区間が公図で土地の所有者が確認出来ないとの事で未実施でした。 その後、隣接する土地所有者が測量をしたところ、公図で道路である事が確認されました。 よって、未舗装の区間の簡易舗装をお願い致します。	【道路河川維持課】 ご要望の道路におきましては、土地の所在が明確でなかったことにより、整備を見送ってきたところでありました。測量の結果で道路敷地である事が確認されたとのことですので、通学路になっている砂利道区間の簡易舗装を実施いたします。	【道路河川維持課】進捗・対応状況:対応済 ご要望の道路につきましては、平成28年10月に砂利道区間の簡易舗装を実施致しました。



平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(大平地域)

東地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
13	参加者	<p>防災ラジオの件について、自治会では8月4日に防災ラジオを預かったが、その時にはただ預かっただけで、説明が何もなかった。自分のところで開けたが、まったく受信できなかった。9月29日の11時前に行って、点検してもらったところ受信しました。でも、家の中でも場所によって置いておいても受信しないです。携帯電話と同じように受信バーというのですか、あれが出ないと受信されないのです。そういうことを知らなかったの、説明があると良かったです。</p> <p>それと、防災の無線が今年度から設置されたが、あの電柱は、震災があった場合に、震度いくつまで耐えられる電柱を使用する予定なのでしょうか。</p>	<p>防災ラジオの件についてですが、配布の際に十分なお説明がなかったということで、大変申し訳ありませんでした。電波につきましては、建物の中だと届きづらい場合もありますので、受信しやすい場所に置いていただき、ご使用いただきたいと思います。どうしても場合には、ケーブルテレビを視聴できる環境があれば、ケーブルテレビを経由して直接ラジオを聴くことも可能ですので、その際には、ご相談いただきたいと思います。</p> <p>防災無線の電柱の耐震につきましては、震度6強まで耐えられる構造となっております。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
14	参加者	<p>メディカルセンターしもつがは、非常に堅固な建物で、ヘリコプターも離着陸できるという話を伺っていたのですが、4か月ほど前、その質問をしたところ、離着陸はしませんという回答でした。そういったものは、自治医大や獨協医大へ運びますのでという回答をいただきました。最近になって、使用できるようになったという話も聞いたのですが、このへんの話がひとつ。</p> <p>また、5～6年はメディカルセンターしもつがに対して、赤字続きは覚悟の上だと思うのですが、そのなかで、下都賀病院を考える会に入っていて聞かれるのが、診察券が統一出来ないかということです。というのは、事務的に大変なのかわかりませんが、病院がひとつになったにも関わらず、診察券が3枚なのはおかしいのではないかと質問がありますので、答えられるようならお願いいたします。</p>	<p>ヘリポートについては、当然、使う予定でございます。どうしても生命に緊急を要する場合は、獨協とか自治医大に運ばれるケースが多いのですが、獨協や自治医大が受け入れられない場合には、しもつがにも来るということでございます。当然、今後、入院している方が、獨協などに行くというケース、あるいは臓器移植などのケースもあって、使わないということではございません。今の所は、まだ使用していないということです。</p> <p>診察券については、一緒にするという準備を進めていますが、システムを統一しなければならないので、かなりの費用が掛かります。ある程度収益が上がってくれば、診察券を統一したいと思っております。</p>	<p>【健康増進課】進捗・対応状況：対応予定</p> <p>ヘリポートの使用について「とちぎメディカルセンター」に確認したところ、昨年8月に「しもつが」に搬送された患者を、ドクターヘリで独協医科大学病院に転送したケースと、本年1月に「しもつが」に搬送されたケースの2回あるとのこと。なお、その他にも別の場所に運航中であり、ドクターヘリの要請に応じていただけなかったことも数回あったとのこと。また、診察券の統一については、現在、検討中ではありますが、時期については未定とのこと。また、診察券の統一については、現在、検討中ではありますが、時期については未定とのこと。また、診察券の統一については、現在、検討中ではありますが、時期については未定とのこと。</p>
15	参加者	<p>栃木のメディカルセンターの周りの道路についてです。病院につきましては、南側が正面の入口になっています。その反対に北側にもう一本、道がございます。その道に縁石がありまして、歩道があります。せっかく北口に道を作っても縁石があるため、病院の入り口は全部南口です。その入口に近い部分の縁石を、車椅子が通れるくらいの縁石を取っていただきたい。よろしくお願いたします。</p> <p>検討していただくということで、車が入るほど開けていただきたいというのではなく、せめて車椅子分けていただければと思います。わずか縁石ふたつくらいだと思ふんですよ。ふたつくらい開けるのに検討するなんて、はっきりと、いつ頃までにできますくらいのコメントを頂きたいと思ふんです。よろしくお願いたします。</p> <p>予算がないというなら私がやりますから。それで良ければすぐやりますから。市長さんがいるんですから、はっきりしていただきたい。</p>	<p>北側の道路については、縁石がございます。縁石を設置したのは、病院の出入り口は南側ということで、北側からに関しては、基本的には非常口以外での出入りはないという計画であったものですから、縁石については通して設置し、間を開けていないというのが実情であります。</p> <p>車椅子の利用もあるというお話でございますが、このへんについては、病院の敷地への出入りを、どのような動線で考えていくかということで、病院のほうと相談させていただきまして、縁石を開けることについて、病院と調整して、どのようなことができるか検討する時間をいただきたいと思いますので、今日は、厳格に、できるかどうかということは申し上げられないのですが、時間を頂きたいと思ふんです。</p> <p>大変申し訳ないのですがけれども、いつということは申し上げられません。病院の敷地の動線と、病院の出入り口の関係もありますので、時間を頂きたいと思ふんです。現場のほうを確認しながら回答させていただきます。</p>	<p>【道路河川整備課】進捗・対応状況：対応済</p> <p>メディカルセンター北側の乗入れ(縁石がない部分)の件について、今後、乗入れとして利用する計画があるかどうか、メディカルセンターに確認をしたところ、北側からの出入口は考えていないということでしたので、縁石は現状のままです。その旨、質問者へ報告させていただき、了解を得ました。</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(大平地域)

東地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
16	参加者	<p>下高島の自治会長です。先ほど防災無線の話が出たのですが、ほかからの話では、下高島にも防災無線が建つということで、市のほうからは、そういう話を聞いていないのですが、防災無線について詳しい話をお願いします。災害が起きた場合、市と地域が連絡を密にしないといけないと思うのですが、防災無線に関して自治会に話がなかったというのは、どういうことかなと思います。</p>	<p>防災無線は、災害の時に緊急放送をするための施設ということで、現在、63基が市内各所に付いています。それだけでは足りないため、今年、50基を市内各所に平均的に設置をしています。最終的に平成30年度までに185基設置する予定です。その防災無線によりまして、災害が発生した時の避難勧告等のお知らせを皆さんにするということで、現在、整備を進めているところです。防災無線は屋外ですので、大雨が降っている時や風が吹いている時は、どうしても家の中になることとなりますので、そういう場合に聞こえないということで、ほかの伝達機能として、防災ラジオやケーブルテレビのL字放送など、市民の方に危険が迫っていますとお知らせする施設になっています。現在、今年度50基の防災無線を設置するにあたって、担当が自治会長と土地の所有者に色々お話を伺いながら設置する場所、設置する許可を取っているわけですが、自治会のほかの全員の方に対してお話しがないというのは、ほかの所でも聞いています。この件につきましては、担当のほうからも良く説明するようにしたいと思います。</p>	<p><b>【危機管理課】進捗・対応状況：対応済</b>  同報系防災行政無線につきましては、平成28年度に46カ所の整備を行い4月から110箇所運用を開始いたします。  大平地域の東地区につきましては、平成27年度に大平東地区公民館と北武井地域の広場に設置し、平成28年度は、下高島の消防団詰所と真弓集会所に設置したところであります。下高島の消防団詰所につきましては、下高島と上高島の両方の地区をカバーできるよう場所を選定しております。  なお、遅くなって申し訳ございませんでしたが、上記の設置につきましては、工事施工前に下高島の自治会長様へ説明させていただいております。</p>
17	参加者	<p>空き家対策の話ですが、解体費の補助制度、最大50万円まで補助しますとあります。うちのほうにも通学路に2軒ばかり空き家があるのですが、防犯上よろしくないということで、なんとかならないかという話が出ているのですが、こういう補助の詳しい話が、末端まで行き届いていないように思うのです。こういったものを回覧みたいなもので、地域の人に周知できるものがあるならば良いと思うのですがどうでしょうか。</p>	<p>空き家に対しては色々な取り組みを実施しております。ただし、自治会長の仰られるとおり、情報が十分に伝わっていない懸念がございます。先の所有者の方に、毎年5月に建物をお持ちの方に固定資産税の納税通知を送られる時に、お知らせの文書を入れておりますので、かなりの方から反応はありますが、まだまだ真剣に空き家対策に取り組んでもらえないということもあります。場所について確認させていただき、色々なかたちで所有者の方を調べて、来週のはじめには、何らかのかたちでご連絡させていただくことができるかと思っておりますので、もう少し調べる時間をいただきたいと思います。</p>	<p><b>【住宅課】進捗・対応状況：対応済</b>  お話のありました空き家2軒につきましては、所有者の意向確認の上、解体費補助対象として、解体手続きを進めております。  今後も、解体補助制度等の空き家対策事業の周知につきましては、広報や納税通知に同封するチラシ、メディア等により周知を進めてまいります。</p>
18	参加者	<p>保育園を統合して、今の小学校のあった栃木中央小学校の脇に作るという話がありましたけれども、運営主体がどこなのかという説明がありませんでした。既に東保育園と沼和田保育園を統合した民間保育園があります。私としては、市がきちんと責任を持って市立の保育園として作っていただきたいという思いがありまして質問いたします。</p>	<p>今、統合保育園として、中央小跡地に整備している保育園は、公設公営ということで市の運営によります。今年4月から開設したフォレストキッズについては、栃木市で作っております保育所整備計画の中で、沼和田保育園と大平東保育園を統合して新しい保育園を作りましょう。その中では、民設民営の方法で作らしようという方向性があったなかで、民設民営のフォレストキッズになりました。いりふねとその保育園については、統合いたしますが、公設公営でやりますという計画ができておまして、その結果、今回の整備をさせていただきます。</p>	<p><b>【左記回答要旨のとおり】</b></p>



平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(大平地域)

東地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
19	参加者	<p>メディカルセンターの東側の道路なのですが、道路の南側の農免道路とぶつかりますが、1か所だけ信号機が付いていない所、土与の墓地の所があります。両方向とも止まれの標識なのですが、病院がオープンして間もなく、市から連絡がありまして、その場所は、止まれをなくしますからという連絡がありました。今まで止まれが止まれでなくなるという話を受けて、たまたま自治会長関係集まって、皆さん4自治会の人と相談しまして、やはり止まれをなくされると、今まで止まっていたのが止まらなくなると、交通事故の原因となるから困るということで、今までどおり、止まれというかたちにしてもらった状態です。いずれにしても土与の墓地の所の交差点に関しては、信号機なり、どうかたちで整備してもらえるのか要望したいと思います。</p> <p>関連して、信号機を付けるというのは、色々な条件があると思いますが、早くやっていただきたい。あそこは通学路になっています。できれば看板もよろしいのですが、路面にペイントしてもらうのもひとつの方策かなとも思いますので、そういったことも含めてお願いしたいと思います。</p>	<p>危険な交差点の安全対策としては、信号機の設置が最も安全で有効的であると考えます。しかし、信号機の設置に関しては、栃木県公安委員会が優先箇所を設けて設置しています。平成27年度の設置実績については、栃木県内で15基。栃木市内では2基というのが現状です。要望してすぐに信号機が付くかどうかというのは、市で判断はできませんので、とりあえず危険な交差点の対策をしまして、交差点の注意喚起の看板ということで、交差点があるから注意してくださいとか、そういったものを設けることは、すぐできるのですが、信号機については、先ほども申しましたとおり、公安委員会で設置するものですから、少し時間が掛かるとうことでご了承いただきたいと思います。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
20	参加者	<p>ふれあいバスの関係なのですが、北武井は唯一ふれあいバスが通っていない所です。今まで、実際に走らせて北武井で何人乗るかとか、利用者がいるのかとか、散々歴代の自治会長がいわれて来たところですが、とりあえず心強いデータをいただきましたので、その点がひとつ。</p> <p>昨年、バスを走らせてくれといった時には、自宅から目的地まで直接行くことができる蔵タクを是非利用してくださいという回答だった。しかし、蔵タクについては目的地に直接行けないで、例えば、ゆうゆうプラザから帰って来るのに西野田を回って、土与を回って、10分で来るところが30分も40分も掛かっているのです。そこで、今年は、蔵タクは問題があるといったら、今年の回答は、まるっきり変わってしまって、蔵タクは、1時間を目安に乗り合いなので、場合によっては1時間くらい見てくださいという回答なので、担当者が変わると回答が変わるのでしょうか。</p>	<p>昨年の回答書がありますが、仰るとおりに直接行けると書いてあります。これは、少し説明が足らなかったと思います。蔵タクにつきましては、予約制の乗り合いタクシーでございます。事前に予約をしていただいて、8時の便、9時の便と1時間ごとに便を出しております。1時間当たり14回動くことになっておりますが、そこで乗っていただく方の出発地点、ご自宅ならご自宅、それと目的地を調整いたしまして、乗り合いで、目的地までは、どんなに掛かっても1時間以内で行けるようにしようということでやらせていただいております。そのようなことで、昨年の回答につきましては、申し訳ありませんでした。説明が足らなかったと思います。今回、回答させていただいた内容が蔵タクの内容でございます。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
21	参加者	<p>蔵タクについて。選挙がありましたよね。その時に是非ふれあいバスを使ってくださいと広報が出ました。ふれあいバスが唯一走っていないのが北武井です。なぜその時に、人口比率からするとそんなに大勢でないのに、蔵タクを是非ご利用くださいといわなかったのですか。同じ税金を払っていて不公平です。</p>	<p>まず、北武井にふれあいバスを通して欲しいというご要望が従来からあるということはお存じしております。昨年も検討させていただくと回答しているわけですが、検討しているのですが、実際、どこの路線のバスを回すかというのを考えまして、大宮～樋ノ口、小山街道の方から入ってくるのが良いのかなと考えておりますが、小山街道から入りますと、入り口はバスが十分に通れる道幅なのですが、西に向かって行きますと、だんだん狭くなって、バスが通るにはちょっと危ないと思われる道路になっております。南北もございませうけれども、農免道路から北に入っていく道路も、入ってすぐ大きなクランクになっていたり、道幅そのものもそんなに広くなかったり。また、北武井の公民館から西へ行く道も、広くございませうし、橋もちょっと狭い状況かと思っております。バスを走らせるには安全面を考えますと厳しい状態かなということ。その他にどんな方法があるか検討させていただいている状況です。</p> <p>それから、なぜ選挙の時にバスを使ってくれと言って、蔵タクを使ってくれといわなかったのだということですが、選挙の当日は日曜日でございます。蔵タクに関しましては、業界との関係もあり、市外に出ないということ、日曜日は走らないということになっております。申し訳ありませんが、選挙の日はふれあいバスをお使いくださいということで広報させていただきました。</p>	<p>【交通防犯課】進捗・対応状況:未対応</p> <p>ふれあいバス路線等の見直しを検討するにあたりましては、見直しにより新たに要する時間が与える便数削減への影響など、利便性の低下に十分配慮する必要があると考えております。</p> <p>今回のケースは、左記の回答にもありますように、その検討の前提にあたる、交通安全上支障のない路線の確保という段階においても問題がある状況ですので、現段階での北武井へのふれあいバスの運行は、困難であります。</p> <p>なお、現地の状況につきましては、ご要望いただく前も含め、担当が何度も足を運び、確認しておりますことを申し添えます。</p>



平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(大平地域)

東地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
22	参加者	<p>栃木市には市歌があるという話を聞いたのですが、あるのですか。例えば、交通安全大会に出たのですが、市歌があれば当然その時に曲を流すとか、次第書の最後に市歌を表示するとか、そういうかたちで少しでもPRする必要があると思います。私はまだ聞いたことがないのです。よろしくお願いたします。</p>	<p>市歌の話ですが、昨年(H27)の11月に市政5周年を記念いたしまして、市の歌や花や木などを制定させていただきました。市の歌につきましては、防災無線でもかけているのですが、防災無線がまだ建っていない所では、まだお聞きになれないということがありますので、所管のほうに機会があれば、市の会議などに、市の歌を歌うようにお願いはしてあるのですが、そういったこともありますので、市の会議や行事の際は、色々な資料に市の歌を載せたり、はじめに歌ったりするようなかたちで、市の歌が皆さんに浸透するように努めて参りたいと思います。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
23	参加者	<p>通学路の途中にある押しボタン式の信号の件ですが、下高島から小学校に行く間に、上高島の県道を横断するための押しボタンの信号があります。栃木・南小林線の南北に走る県道なのですが、県道の東側には歩道があるのですが、西側にはなく、押しボタンが車道のすぐ近くにあるのです。自転車から来た場合、その押しボタンを押すためには、かなり車道に前輪を出すくらいにしないと押しボタンが押せないような状態です。また、路肩がかなり急勾配で危険です。できれば安全に横断できるようなスペースが欲しいということ。また、子ども達が小学校に登校するために、7、8人の登校班で交差点を横断する時には、東から西へ県道を渡ってすぐに左右の安全確認をするためのスペースもなく、今度は市道を北へ横断して右側通行で子ども達が登校するのですが、路面に横断歩道のペイントもありません。それなので、県道を横断してすぐに、斜め前に向かって市道を横断して歩いて行くのです。</p> <p>その押しボタンの県道の西側の場所に、最低でも1m50cmから2mくらいのスペースがあれば良いなと思います。できれば市道に歩道があれば一番良いのですが、無理であれば、それくらいのスペースを確保できるようにしてほしいのが要望です。</p>	<p>その場所は県道部分になるのか市道部分になるのかわかりませんが、現地を確認のうえ、部分的にできるようであれば土地の所有者のご協力があればできると思いますので、まず、現状を確認して、県と市で協力して役割分担してできるようであれば、すぐに実施したいと思います。</p>	<p>【道路河川整備課】進捗・対応状況：対応済 市道側の用地を活用しスペースを確保いたしました。</p>
24	参加者	<p>9月の広報で自主防災組織の件がありました。特に東地区は、去年、水害に見舞われた所が沢山ございまして、自治会で協力し合って、自主防災の指導の話を統一していただきたいと思うのです。</p>	<p>自主防災組織の関係でございますが、市におきましても、地元で自治会が母体になる場合が多いのですが、自主防災組織を積極的に立ち上げていただくということで、できれば実際にどういう手続きが必要か、どういったことができるのかという説明を差し上げたいと思いますので、のちほど、ご連絡先をお聞かせいただきたいと思ひます。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(大平地域)

東地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
25	参加者	<p>去年の水害において、東地区は大美間土地改良区で、真ん中に杣井木川がございまして、行政区が栃木市と小山市を跨ぎ、国道50号線から南側が小山市のエリアです。特にそこが床上浸水又は天井まで浸水した所もございまして。実は、明日も強化対策に関する会合がありまして、栃木市から私が土地改良代表として意見を述べるわけですが、今回、真弓で水害になって、排水機場の要望が出されていると思いますが、まだこれは、はっきり聞いていないのですが、補助事業で採択されれば最高だと思っております。特に市長や産業振興部長にもご尽力いただきまして、総代会で承認されたあかつきには、早く実現していただきたいと思っております。そのへんの見解のご報告をお願いしたい。</p>	<p>真弓の排水機場は、理事長からお話がありましたが、私というより、理事長にご尽力いただきまして、今回の回答には、明確には書いていなかったのですが、その後の情報としては、県の計画に載るといようなお話を聞いております。そういうことで、市でも、なるべく早くできるように、今後も努力をして参りたいと思っております。それと杣井木川周辺の排水対策については、国道50号線より南は小山市、当然、上流は栃木市になるということで、栃木市におきましても、農業用の排水又は都市排水の両方をきちんと考えていかなければならないということで、それぞれの部署が連携しながら栃木市としてどういうふうな、少し長期的な視点になりますけれども、どういう排水計画が必要かということを検討してございます。そういったなかで、県などを巻き込みながら、排水対策をきちんとしていくような実効性の高い計画を作り上げたいと思っております。進めているところですので、できましたら、地元の土地改良区などに説明したいと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p>	<p><b>【農林整備課・大平産業振興課】進捗・対応状況:対応予定</b>                  真弓地区の排水樋門につきましては、県営事業として進める方針が確認されております。県では、平成30年度から事業着手ができるよう平成29年度より調査計画業務を行う予定となっております。                  市としましては、短期的な排水対策について、農林整備課におきましては、今年度、沼和田西部用水(境地区)の取水部に簡易ゲート設置工事を実施する予定でございます。                  また、平成29年度に沼和田町地内の愛宕堰からの取水部にゲートを設置する予定であります。こうしたゲートの設置によりまして、台風や集中豪雨時に水をしっかりと止めることができることとなりますので、下流部エリアの排水負担を少なくすることができるようになります。                  長期的な排水対策については、今後、市内部の関係課が協議を行いながら、効率的な排水対策を検討してまいりたいと思っております。</p>
26	参加者	<p>小学校のトイレの件ですが、南小学校西小学校が立派な小学校ができて良いのですが、私は現物を見ていないのですが、東小学校のトイレが随分ひどいらしいのです。これの改善について、計画があるのかどうかをお聞きしたい。</p>	<p>現在、トイレの改修につきましては、今年度は、教育委員会として、今まで耐震改修等などを行って、平成27年度で、全44小中学校の耐震改修が完了しました。また、平成26年度から、エアコンの整備を進めまして、今年度で小中学校のエアコンの整備が終わります。トイレの改修につきましても、平成26年度から随時行っておりまして、今年度も小学校3校のトイレの改修をしております。今後、先ほど言われたとおり、中央小学校のトイレの改修なども進めている所ですけれども、東小学校につきましては、設計なども含めて現在計画中で、近いうちに整備の予定でございますので、ご理解いただきたいと思っております。</p>	<p><b>【学校施設課】進捗・対応状況:対応予定</b>                  大平東小学校の児童用トイレは、平成22年度に給排水管改修並びにトイレを洋式化する大規模改修工事を行いました。                  平成29年度は、残る来賓トイレの改修工事を行う予定です。</p>
27	参加者	<p>トイレの改修の中で、1か所くらい、今、どこの家庭でもあるウォシュレットが、学校に付いていないのは使いづらい。我慢する生徒もあるということで、質問したことがあるのですが、その時、耐震構造にするために、そのうち必ずやるということを受けたまっています。今度の市役所についても、1階2階は、ウォシュレットが付いているが、お客様が来てもウォシュレットがないという意見も聞く。下野市のトイレを見たのですが、全部ウォシュレットです。市長や副市長にもお願いしましたが、栃木市は、東武で使っているトイレしかウォシュレットがないという話なので、付けた方が良くはないかと思っております。栃木県としてもウォシュレットを普及させようと知事も言っているくらいですから、栃木市も、一番栃木県の中で住みたい場所が栃木市だということを周知しているのですから、このへんも考えるべきじゃないかなと思っております。もちろん、富田地区で私がこういう話をした時に、小学生にも我慢ということもしつけのひとつだと言われたこともありますが、これは違うと思うのですよね。エアコンつけてウォシュレットがないというのはおかしいので、是非検討してください。</p>	<p>現在のところ、トイレの改修につきましては、暖房便座は付けております。また、トイレの改修をした時には、必ず多目的トイレを設置します。それについてはウォシュレットが付いています。ほかにつきましては、他の学校では付けていない状況です。話を伺った上で、学校なども含めてお話を伺って、どうしても必要性があれば検討もしていきたいと思っております。トイレの改修を進めるのが最優先ですので、そちらを計画していきながら検討をさせていただきたいと思っております。</p>	<p><b>【左記回答要旨のとおり】</b></p>



平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要

南地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
1	榎本上下・旭・荒町	<p>【市道脇の草木の管理についてお伺いしたい。】 市道と水路が併設している箇所は草木等の伐採について、管理対応はどこでおこなうのか。</p>	<p>【道路河川維持課】 ご要望の路肩に並行した水路につきましては、路面排水や農業用の用排水路であり、利害関係者により管理していただいておりますが、当市道路路肩におきましては所どころで通行に支障をきたしますことから道路側の草木について市で刈り取り及び伐採をいたします。 なお、水路の民地側につきましては、今まで同様、所有者による管理をお願いいたします。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
2	西水代上第3	<p>【大平社協の見守りネットワークと、栃木市支え合い活動推進条例の関係性、進め方及び自治会の活動上のアドバイスについてお伺いしたい。】 社会福祉協議会では、数年前から見守りネットワーク活動を行っており、今年も、未実施自治会に対して参加要請が来ました。 一方、市の条例が制定され、10月以降で名簿の提供がスタートし、活動がスタートします。 社会福祉協議会の見守りネットワークと、条例下での活動とでは、重複化を感じます。 これらの関係と、進め方について、市のお考えと自治会への活動上のアドバイスを聞かせください。</p>	<p>【地域包括ケア推進課】 栃木市地域支え合い活動推進条例につきましては、自治会等による身近な地域における支え合い活動(見守り活動)を地域の実情に即し取り組んでいただくことを目的に制定しております。また、大平地区社会福祉協議会で実施されている見守りネットワーク活動につきましても、地域支え合い活動推進条例同様に、自治会での見守り活動の実施を目指した事業であります。そのため、条例に基づく活動も地区社協の見守りネットワーク事業も、具体的な自治会での活動は同じものと考えております。 従いまして、市の提供する「支え合い活動対象者名簿」(条例にのっとり作成するもの)を基に見守りマップを作成し、声かけ運動や安否確認を実施するなど、それぞれ別の取り組みではなく一体的に取り組んでいただきたいと思っております。また、自治会での見守り活動につきましては、それぞれ、自治会の規模や活動も異なりますので、一概に地域支え合い活動を進めることは難しいと考えられますが、見守り対象者の把握、見守り体制や連絡体制、声かけ安否確認の方法、災害時の避難誘導などを自治会内で話し合い実行していただきたいと思っております。 市といたしましては、モデル的な先進事例などをお示しながら、自治会での活動支援を行ってまいりたいと考えております。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
3	西水代上第3	<p>【美化キャンペーンとクリーン大平の活動の一本化又は連携を図っていただきたい。】 4月27日付けで、クリーン推進員あてに「美化キャンペーンの実施」について書類が届きました。5月29日に統一行動日として実施して、後日、報告するようにとのことでした。 一方、同じ4月27日付けで、自治会長、クリーン推進員あてに、「クリーン大平の実施」について、同じ市民生活課から書類が来しました。7月から8月に実施して、後日、報告するようにとのことでした。 受け皿の自治会としては、同じ4月27日は、同じ市民生活課から異なる2件のクリーン活動に関する通知が発行されることに違和感を感じます。 統一化(一本化)するか、そうでなければ、連携をとって整合性化されることを希望します。</p>	<p>【大平市民生活課】 現在、大平地域では5月下旬に県の統一行動に合わせ実施している「美化キャンペーン」と、大平地域独自で7月から8月にかけて道路、道路側溝、空地、公園等の清掃、草刈りを重点的に実施している「クリーン大平」の2つの美化活動を各自自治会にお願いしております。 大平地域ではこの2つの美化活動を実施することによりまして、地域の方々の環境美化に対する意識が高まり、地域の環境が保たれていると認識しておりますので、今後もこの2つの事業につきまして、継続して参りたいと考えております。 しかしながら、実施時期につきましては、各自自治会の都合もあると思われるので、「美化キャンペーン」と「クリーン大平」の実施日につきましては、自治会の都合に合わせていただきまして、5月～8月を目安に実施していただければと考えております。 自治会長はじめ地域の方々には何かとお骨折りがいただきますが、地域の環境美化を推進し、栃木市を住みよい町にするために、この趣旨をご理解いただきまして今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
4	参加者	<p>文学館とか文化芸術館とか、素晴らしい狙いとテーマを持って整備を進めて行くことは素晴らしいことだと思います。対外発信ということのお話でしたが、栃木市民に対しても、誇りを持ち得る歴史的な文化遺産として再確認をしていく拠点として、整備していくことを強く願うところです。小中学校の義務教育の子ども達に対しては、教育の分野の中からこういった施設を活用した中で、教材化をしたり、教育していく場を充実していく長期的な構想がありましたらお聞かせいただきたいと思っております。</p>	<p>次ページメディカルセンターの件と併せてされた質問であり、回答が漏れておりました。右記、経過・対応報告にて、回答させていただきます。</p>	<p>【学校教育課】進捗・対応状況：対応予定 栃木市では、学校教育の重点項目として、『ふるさとへの愛着と誇りをはぐくむ「ふるさと学習」の充実』を掲げております。小学校3、4年生の社会科や中学校の地理、公民等、更には小中の総合学習の時間等において、市内各所を実際に見学したり調査したりする、地域学習を行っております。文学館や文化芸術館などの施設が完成した際には、これらの施設を計画的に学習に活用し、更に栃木市への理解と愛情を深めてまいりたいと考えております。</p>



平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要

南地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
5	参加者	<p>とちぎメディカルセンターの件ですが、退職をして3年目になるのですが、今までの保健の組合から脱退して国保に加入しました。そのようなことから、はじめて地元の検診で、医師会で人間ドックを実施しました。それまでは埼玉県内の民間病院で長く人間ドックをやってきましたが、今回、感じたことですが、検診そのものは皆さん精通しており、スムーズに気持ち良くできました。しかし、検診結果の結果表については、かつての民間病院のもの比べてみますと、わかり易いデータ整理の点からすると残念ながら格段の差を感じてしまいました。せっかく、公民連携ということで、同じセンターの中にしもつが病院があったり、とちの木病院があったりしているにも関わらず、結果表の中に再検査とか精密検査とかの指示があったのですが、そういった時に、精密検査を受ける場合の案内が一切同封されていなかった。結果表だけで終わっている。せっかく連携して、これだけ市として大きな力を入れて取り組んで来た事業にも関わらず残念に思いました。どうしたことだろうと不思議さを感じましたので質問します。</p>	<p>人間ドックの結果表が、今まで実施されていた病院のものに比べてがっかりしたというお話と、再検査の案内が寂しいというお話を伺いました。メディカルセンターで実施しておりますので、細かい点につきましては、確認をさせていただきます。改善すべき点があるかと思えますので、メディカルセンターにお話できるものについては、見直しを図ってもらうように要請して参りたいと思います。</p>	<p>【健康増進課】進捗・対応状況：対応予定 人間ドック結果表の改善等、要望については「とちぎメディカルセンター」に伝え、検討をお願いしました。「しもつが」と「とちのき」は検診データやシステムが統一化されていないため、情報の共有が図られていないところもあるので、今後、診察券の統一等、システムの統一化を検討していくこととなります。</p>
6	参加者	<p>栃木蔵の街の周辺整備についてですが、整備したあとのランニングコストとか、継続していく時に、大体どれくらいお金が掛かって、それが今までより増えるのか減るのか、今まで色々とおうちに保管したりこっちに保管したりとか、運送費だとか蔵の街美術館を運営したりとか、色々総合的にやっているものが、新しくなると、経費が多分増えるのだと思うのですが、どれくらい増えるのか。また、その財源というのは大丈夫なのかをお聞きしたい。 後世に、あまり負担にならないように、しっかり経営的に考えていただいて、計画していただきたいと思えます。</p>	<p>今回計画しております文化芸術館につきましては、ただいま基本計画を策定している途中であり、建物の仕様なども決まっていない状況です。基本計画の中では、維持管理経費についても方向性を出してまいりますが、現在のかたちでは数字的な想定はできていない状況です。ただ、参考としまして、類似のものということでお答えをさせていただきます。人件費を除いた額になりますが、年間で、足利市立美術館では8,300万円、下館美術館では、8,200万円、川越市立美術館では、6,500万円です。栃木市で予定をしているものは、今、いったような美術館と同じ様な規模を考えており、大体そのあたりになるのではないかなということ予想しています。現在の栃木蔵の街美術館は、本格的な美術館ではありませんので、約2,800万円ほど掛かっている現状です。美術館としては、前より経費が掛かるといことになります。財源ですが、市の単独費というものを主に使っていくこととなります。企画展などは、財団法人や色々な文化芸術外郭団体の企画展に対する補助制度もありますので、最近の近隣の美術館では、そういったものも活用しながらやるということも多くございます。そういった、市の財源だけでなく、ほかの所からお金を持ってくるということも考えております。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
7	参加者	<p>文化芸術館について、市民も期待しております。最初は歌麿しかないとかなと思っていたら、沢山あるということで安心しました。 今回決定されたリノベーション事業5か年計画を丁寧に説明していただきましたが、栃木駅前に公共施設が建つと記憶しております。生きがい広場には、ハローワークや税務署が移る話がありましたが、今回は撤回されたのでしょうか質問いたします。</p>	<p>栃木駅前の国の合同庁舎ですが、国では、今年度、合同庁舎の予算が計上され、先日も設計業者が決定したという情報を得たところですが、設計については、今年度から来年度に掛けて、平成29年度中に設計を行い、その後、合同庁舎の建築工事に着工するという状況です。とりあえず、合同庁舎についてはそのような状態で、国のほうで整備を進めている状況です。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
8	参加者	<p>学童野球の会長をやらせていただいていたのですが、大平町の多目的グラウンドが、ここ3年くらい、一般に開放されていない状況になっています。その理由は、ここでは申し上げられませんが、できれば3年前と同じように、グラウンドが、子どもたちに自由に使えるようにしていただきたいと思えます。 また、グラウンドの予約も、グラウンド調整会議でほとんど決まっているようですので、そこらへんを改善していただいて、できれば、栃木のグラウンドと同じような予約方式にしてほしいです。</p>	<p>大平の運動公園の関係を色々やっていますが、そのグラウンドは大平運動公園の多目的グラウンドのことでよろしいでしょうか。状況を確認しまして、調整をさせていただいて、直接、ご回答をしたいと思います。</p>	<p>【スポーツ振興課】進捗・対応状況：対応済 大平地域においては、スポーツ施設の計画的、効率的な活用のために、利用団体(市、教育委員会、体育協会、学校、消防等)より毎年12月に次年度の事業計画を提出していただき、事前に利用調整を行っております。 今回、学童野球の大会につきましても、栃木市軟式野球連盟より主催事業として申請していただき、H29年1月に開催しました利用調整会議において、1年間の利用予定について利用団体間で調整を行い、利用が決定したところであります。 なお、一般の利用につきましては従来通り、利用予定日の2か月前より受付を行いますので、ご理解くださいますようお願いいたします。</p>

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
9	参加者	<p>新では、夏祭りを実施して今年で10年目になります。非常に盛況で、そして、魅力ある地域づくりになっています。一方で、開催時期に、役員も高齢化して、シニア・シルバーが頑張っているのですが、テントがとにかく重いのです。それから、ちょっと古くなって汚れているのです。</p> <p>そこで、軽いテントの新規購入をお願いしたいと思います。近隣ですと、野木町を例に取りますと、2万5千の人口で22張を持っています。是非とも栃木市でも、新だけで使うのではないのです。色々なところで使えるように、どこか1か所に購入していただきたい。</p> <p>具体的な資料を事務局へ出しておきましたので、大体、1張り3万円から4万円くらい。具体的な理由は、従来のテントよりもコンパクトで、重量も軽く、安易に祭りやイベントに搬入、搬出も可能ですし、設置や片付けにおいては、組み立てや収納が簡単で少人数でできます。しかも、安全安心です。数につきましては、先ほども申し上げましたとおり、20張以上を用意して下さると、皆さん助かります。</p> <p>全体を考えて、ささやかな願いを実現していただければ、幸いと思います。</p>	<p>大平地域の地域づくりを担当している私のほうからお答えいたします。大変、地域の活性化に役立つということと、また、テントは大変重くて、どうしても皆さん簡易テントを望まれているところだと思います。大変恐縮ですが、先ほども少しお話がありましたが、新だけではないことは重々わかっておりますが、大平地域として、全体的にどのような利用があるか、また、活用ができるかということもありますので、自治会連合会の研修が12月にありますので、そのなかでお話をさせていただいて、検討をさせていただければと思っています。</p> <p>また、要望書には29年度早々にという、大変熱い気持ちをいただいているのですが、それはちょっとお答えできませんので、そのあとからという感じになるのかなと思います。</p> <p>大平地域づくり推進課長が、大平地域全体で考えないといけないということでしたが、大平地域だけではないです。これは栃木市全域で考えないといけないので、大平支所の問題ではありません。本庁のほうで考えていくことになります。簡易テントではありませんが、栃木市も貸し出し用テントはあります。ただ、昔の重いテントですから、もっと軽い簡易テントに切り替えていくことを含めて、十分、前向きに検討していきたいと思います。</p>	<p><b>【管財課】進捗・対応状況：一部対応</b> 本庁管財課では、市民の方や市内事業所に対し、テントの貸し出しを行っております。</p> <p>テントは、鉄製の組立式(357cm×267cm)が50張、アルミ製のワンタッチ式(360cm×240cm)が9張あり、使用料はどちらも1日につき1張1,100円で貸し出しています。</p> <p>なお、アルミ製ワンタッチ式テントの数につきましては、鉄製組立式の老朽化による入れ替えの際に切り替えてまいりたいと思いますので、ご理解のほど、お願いいたします。</p>
10	参加者	<p>子育て世代を代表して少し。下都賀病院の跡地の活用ということで、話では子どもの遊び場を検討されているということも聞いているのですが、検討の状況をどういったことを計画しているのか、お聞かせいただければと思います。</p> <p>お金を掛けろという事ではありませんが、知恵を絞っていただいて、良いものを作っていただきたいと思います。</p>	<p>下都賀病院の北病棟の跡地の件ですが、これはまだ栃木市の土地ということにはなっておりませんので、栃木市で活用できればという条件で子どもの遊び場を検討しています。子どもの遊び場そのものについては、もっと早い時期から栃木市にも是非欲しい、最近、小山市にキッズランド、足利市にキッズピア、大田原市でとこと大田原ということで、かなり広い面積を遊び場として使って、屋内の施設ですので、雨の日など出ていく場所がない親子連れが利用したいという希望も多いということもわかっておりましたので、整備の手法といえますか、どのくらいの面積でどういう遊びを実現させて、栃木市らしい中身は何だろうというのは、しばらく詰めていたところです。このたび、北病棟の跡地の利用が、もしかしたら公募で栃木市でも大丈夫ではないのかという情報がありましたので、その場所に子育て支援施設、子どもの遊び場施設を作れないかということで、整備した場合は、どんなものができるかということも詰めているところです。</p> <p>基本的には一番要望が多いのが、雨の日でもある程度の時間を親子で体を十分に使って遊べる場所ということを基本にしていくべきと考えています。大部分の面積は、その遊びに費やすわけですが、場所が、まちなかになりますので、遊びに寄っていただいたお子様連れの方達が、周辺に周遊し、そこでも何か楽しめるものがあると良いのではないかとということで、そうしますと、ちょうど今、検討しております、文学館や芸術館又は地域交流センターなどが、徒歩でも十分行ける行動範囲のなかに入っております。それらと連携を取れるような事業や施設の中身を加えながら、検討を進めているところです。北病棟の跡地が栃木市で利用出来る目途が立ちましたら、もう少し具体的にどんな施設をどんなかたちで入れて、しかも、そのあとの運営はどういうかたちが良いかということも、もう少し詳しく検討できると思うのですが、今は、あそこに行けるか行けないかが確定ではないため、理想とする機能というのはきちんと考えてはおりますけれども、いづらか方向が変わっても十分対応ができるものということで、担当では検討しているところでございます。北病棟の跡地の行く末が決まったら、もう少し具体的なことがお示しできると思いますので、もう少しお待ちいただきたいと思います。</p>	<p><b>【子育て支援課】進捗・対応状況：対応予定</b> 建設地としましては、栃木市祝町地内の旧下都賀総合病院北病棟跡地を予定しており、事業推進中の地方都市リノベーション事業「とちぎ蔵の街周辺地区」に隣接して、(仮称)「文化芸術館」、「地域交流センター」、「統合保育園」等の建設地にも近接した位置にあり、それらの施設との相互活用を含め、多様な都市機能の集約的配置による「魅力・活力・賑わい創出」を実現するために有効な土地であると考えています。</p> <p>事業スケジュールと整備手法については、事業予定地内の既設建物を一部利用し、市が設計から整備までを実施することにより工期を短縮することができることから、平成29年度にはまず建物調査を実施し、その結果を受け設計業務、整備工事、遊具設置等を行いまして、平成31年度中にはオープンしたいと思っております。</p> <p>施設内容については、年齢によって遊びの内容が大きく異なるという、子どもの遊びの特性を考慮する必要があることから、大まかなゾーン分けを考えております。小学生までを意識した、子育て世代から特に要望の高い親子で長時間遊ぶための遊具、例えばボールプールや複合遊具等を中心としたゾーンと、中高生が一人またはグループで体を大きく動かして遊び・集まるゾーンであります。</p> <p>整備する遊具等につきましては、それらの特性に沿った内容となるよう検討してまいります。</p> <p>これらの検討にあたっては、関係者の意見を聞く機会を設け、施設及び運営内容に反映していきたいと考えております。</p>



No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
11	参加者	<p>市の条例で、支え合い条例ですが、名簿をいただけるということなので、近々、名簿の申請をしようと思っているのですが、名簿の網羅率というのですか、同意をいただいて名簿を作ると聞いておまして、その名簿がどの程度の率で、網羅されるものが提供できるのかということについてお尋ねします。</p>	<p>名簿につきましては、いわゆる65歳以上の高齢者のみの世帯の方が1点、介護保険の要介護認定を受けている方、障がい者手帳をお持ちの方で、地域において支援が必要な方を対象に加えて、概ね、こうした方の人数を単純に計算しますと、3万人くらいになります。重複の方を除きますと2万人くらいの方の名簿になるのかなということです。</p> <p>高齢者の方につきましては、自治会の民生委員のご協力をいただき、概ね確認等は取れている状況です。間もなく名簿ができるのかなというところですが、障がい者あるいは介護認定者などにつきましては、9月末をもって個別に一人ひとり確認の手続きをしています。これについても、もう1、2か月くらい時間が掛かるのかなと思います。そんな状況であり、高齢者につきましては、9割とか9割5分の網羅率になるのかなと考えています。障がい者等につきましては、確認を取っている状況でありますので、具体的な数字は決まりませんが、高齢者よりは数字的には下がるのかなと思いますので、個人情報の関係もあり、出して来ない方もいらっしゃると思いますので、そのへんもあるかと思いますが、高齢者の方については、本当に多くの方が同意をいただいている状況だと認識しております。</p>	<p><b>【地域包括ケア推進課】進捗・対応状況：対応済</b>                  栃木市地域支え合い活動推進条例に基づき自治会等に提供する支え合い活動対象者は、高齢者のみの世帯、介護認定者及び障がい者手帳交付者であり、延べ総数3万546人です。                  対象要件の重複を整理すると実対象者が2万3,371人になり、そのうち名簿登載の同意を得られた方は、1万6,420人となり、70.3%の方の同意をいただくことができました。                  また、支え合い活動対象者名簿の提供状況につきましては、平成29年3月末におきまして、栃木地域2自治会、大平地域4自治会に申し出による名簿提供を行いました。さらには、自治会による支え合い活動に関する話し合いに参加させていただき、具体的な活動内容の検討の支援を進めているところです。</p> <p>&lt;調査内訳&gt;                  高齢者のみの世帯の方(個別訪問調査) 対象者 15,510人、同意数 14,306人(92.9%)                  要支援・要介護認定者(郵送調査) 対象者 3,005人、同意数 757人(25.2%)                  障がい者手帳交付者(郵送調査) 対象者 4,856人、同意数 1,357人(27.9%)</p> <p>&lt;名簿提供自治会&gt;                  栃木地域(城内町大宿自治会、箱西部自治会)                  大平地域(西水代上三自治会、西野田第一自治会、西野田第二自治会、富田第三自治会)</p>
12	参加者	<p>一旦、名簿作成した後に、半年後とか、1年後とかに再調査みたいなかたちをして同意率を上げるとか、そういうプロセスになるのでしょうか。</p>	<p>高齢者等につきましては、毎年調査をいたしますので、名簿につきましては、1年ごとに更新というかたちになります。そういったことで、あとは地域の見守り活動の進展といいますか、状況もある程度地域の方々に認知されれば、更に同意率も高くなっていくのかなと思います。</p>	<p><b>【左記回答要旨のとおり】</b></p>
13	参加者	<p>大平町を活性化するのに、JR大平下駅、綺麗になって良いと思うのですが、自転車の放置が多いような気がします。町の玄関先としては、何か考えていただいた方が良くと思います。</p>	<p>その件ですが、実は、今日、私の所に電話がありまして、今月の12日に、JRの駐輪場と、東武の駐輪場の両方を整理するという予定になっております。</p>	<p><b>【道路河川維持課】進捗・対応状況：一部対応</b>                  要望の箇所につきましては、駐輪場の放置自転車を10月に撤去いたしました。</p>



No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
14	参加者	<p>昨年ですが、9月10日11日に掛けて大変な集中豪雨があつて、大変な水害がありました。私の家の玄関まで水が上がってきました。物置も水没して、後片付けが大変でした。杉井木川という1級河川が氾濫しまして、逆流して来まして、私の家の裏の道路が水路になっていました。永野川に行ってみましたら、両明橋の前後が、大変水位が上がって来ていて、果たして私たち榎本地区はどこに避難したら良いのだろうと話題になりました。良く考えてみますと、真弓方面から水が流れて来るので、永野川の堤防が決壊すれば、西には避難できない、北にも避難できない、そうすると私も、どこへ行ったら良いのだろうと。南か東へ行くしかありません。小山市へ避難することになります。榎本は平たん地です。逃げるとすれば車で国道50号線に入って行くか、避難は車になるのですが、小山市の境を越えないといけないとすると、どこへ避難すれば良いのか。市のほうはきちんと固めていると思うのですが、南中学校とか南公民館は永野川を越えないと行けません。避難場所は小山市へ逃げるしかないということで、果たして行政の連携が上手くいくのかなと。こういった落ち着いた時期にこそ、いわゆる縦割り行政を脱していただいて、近隣市町村との防災協定というか、逆にいえば、巴波川が決壊すれば、栃木市のほうに避難する人もいのではないかと思います。可能であるとするならば、この時期だからこそ、準備を進めていただきたいと思います。命に境界はないと思います。命あつての行政だと思つたので、市民の安全安心を守るためにということで、よろしくご検討をお願いいたします。</p>	<p>避難についての考え方ですが、当然、市域は関係ないと思います。その辺は、隣の小山市と相談をさせていただきながら、円滑に対応できるように体制を進めていきたいということで考えています。避難の時期に関しましても、あまりひどくならない状態の時に避難の準備情報や避難勧告を早めにしながら、危険な状態になる前に避難できるような対応もして参りたいと考えております。</p>	<p><b>【危機管理課】進捗・対応状況：対応予定</b>                  大規模な災害が発生し、市域を超えて避難を行う必要が生じる場合を想定し、現在、周辺自治体と広域避難に関する協議を進めております。本地区に関しましては、永野川等の河川が氾濫した場合、市内の最寄りの避難所等に避難することが困難となる場合が想定されますので、小山市側に避難できるよう協議を進めており、現在、それぞれの地域の具体的な避難場所について、最終的な調整を行っております。</p>
15	参加者	<p>杉井木川の話が出たのですが、真弓から栃木から流れる川ですが、水門を止めておいたために、全部真弓から榎本へ向かって水が行ってしまいました。そこにポンプを付けて水門を止めて流し出しをできないかということは何回か言っているが、誰もその話は乗っていただけない。いずれにしても、今回の大水の時は、相当水で困つたと思う。</p> <p>これは何回か話していますが、2年前のちょうどゆうゆうプラザから東へ向かうと、永豊橋という橋があります。そこも崩れて、今度大雨になったら決壊すると思って、その時は市に相談しないで直接福田知事の所へ電話しました。このままだと決壊すると。その時、県議員の方も来ていただいたのですが、なかなか先へ進まなかったのですが、私の所に電話がありまして、すぐやりますということで、やっていただきました。永野川が氾濫すると低い土地に被害が出るので、そのへんについても検討していただきたいと思つています。</p>	<p>今回の資料にも東地区のなかに、そういったご質問、ご指摘がありまして、真弓東や北武井で永野川や巴波川の水位が上がったために水門を閉めた結果、内水氾濫があつて、冠水してしまつた。ポンプを設置してほしいという要望がありました。確かに川の水位が上がってしまつては、排水ができませんので、水門を閉めると内水が上がってしまいます。強制排水するためのポンプを設置しようという考え方もあります。そういったものを色々な補助事業を使いながら整備をしていきたいと思つております。真弓につきましては、県の協力を得ながら整備ができる見通しが出てきました。ただ、そういった応急的な対応はもちろんしなければなりません。根本的には上流から下流に流れていく水を、どういうところで、どういう仕組みにしていくかということを考えていかなければならないと思つております。生活雑排水や都市下水、農業排水が色々な所から河川に入り込みますが、どこかできちんとコントロールすることが大事だと思つています。栃木市も西方から藤岡がひとつの市になり、この問題をトータル的に考えるということが今まで以上にできるようになったこともございまして、市の内部におきまして、農業部門、河川部門が一緒になりながら根本的に排水対策をどうすれば良いかを考えていまして、このあと、県なども巻き込みながら具体的な対策をしていきたいと思つております。少し時間が掛かりますが、長期的な対策と排水機場のような対策を相互にしながら対策を講じていきたいと思つています。</p>	<p><b>【農林整備課】進捗・対応状況：対応予定</b>                  農林整備課では、大美間土地改良区内の排水路や排水樋門、取水堰の現況調査や課題の整理を行いながら、今後の整備方針をまとめていきたいと思つています。予定では、平成30年度から調査に入りたいと考えております。</p> <p>また、市街化区域内の排水対策につきましては、道路河川整備課にて、平成29年度に業務委託を実施する予定になっております。</p> <p>いずれにしましても、栃木駅南部地域の排水対策について、市の関係課が協力しながら、早急に検討する必要があると考え、平成28年度に打合せ会議を開催しております。引き続き、来年度以降も継続して会議等を行っていきたくて考えております。</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要

南地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
16	参加者	<p>岩舟総合支所の道路の係の方についてですが、昔は道路の補修などは、書類を持って来いだとかありましたが、電話一本で早急に対応していただいているものですから、大変助かっております。</p> <p>これはあとで、ご指導をいただきたいと思っているのですが、うちの自治会は、老人クラブが解散してないのです。これから私らも含めて、榎本全体で老人会を作りたいということを考えておりました、場合によっては、ご指導をいただきたい。</p> <p>それから、色々なスポーツを含めて団体育成をしていきたいということで、若い人の集まりや老人の集まりを、体育祭でも終わったら自治会で進めていきたいと考えていたものですから、場合によっては、ご指導いただきたいということでお伺いしたいと思います。</p> <p>また、昨年の水害で、永野川についても工事をしていただけるのだと思いますが、慌ててやっていただいて、長寿命化が短命化にならないように良くやっていただければ助かりますので、よろしく願いいたします。回答はいただかなくて結構です。</p>	<p>回答不要とのことでありましたので、ご意見として承りました。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>